

笑福亭たま

落語 de
メンタルヘルス

笑いが心身の健康に良いことは、多くの分野で認められてきています。
笑いは個人の健康だけでなく、人と人の繋がりにも良い影響を及ぼします。
人と人の良い繋がりが広がれば、寛容で思いやりにあふれた
誰もが暮らしやすい、地域社会の実現も夢ではないでしょう！



◆ 演目「宿替え」

関西弁で「引っ越し」の事。昔は、引っ越し屋さんがなかったので、荷車を引いたり、風呂敷に荷物を包んだりして、自分達で引っ越しをしていました。
東京落語では「粗忽の釘」と呼ばれ、非常に「粗忽な」＝「そそっかしい」
人が出て来る話ですが、その粗忽な人を落語の世界の住人達は面白おかしく
受け入れています。他「落語の手ほどき」有り。

笑福亭たま プロフィール

京都大学経済学部卒業後、笑福亭福笑に入門。
平成16年 文化庁芸術祭新人賞、平成23年 なにわ芸術祭新進落語家競演会新人賞、
大阪府知事賞、市長賞など、東西落語の新人賞、奨励賞を数多く受賞。
新作にも古典にも挑戦する“失敗しない”フリーランスの上方落語のホープです。

共演

◆ 「笑いとメンタルヘルス」：上ノ山一寛 (南彦根クリニック院長)

日本笑い学会 笑ってメンタルヘルス滋賀支部長。精神科医。

◆ メンタルヘルス漫才：
認定メンズ☆サタデーズ (認定 NPO法人サタデーピア)

漫才で地域の精神保健福祉に貢献する精神保健福祉士二人組。
自称イケメンのイケイケ漫才コンビです。



■ 日時 11月28日(土) 午後2時開演 (午後1時30分開場)

■ 場所 ピアザ淡海 ピアザホール
(滋賀県大津市におの浜1-1-20)

入場無料

※未就学児童の入場は、
ご遠慮いただきます。